お湯の魅力でお客さまお満足度アップ

特集 5～7面

施設、料理、サービスは旅館・ホテルを構成する三大要素だが、日本の宿の魅力は何といっても「温泉」「浴場」だ。ここでは湯と設備の魅力で集客に実績をあげている「風呂じまんの宿」23軒を紹介する。今回は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「3密にならない大露天風呂」「家族以外との接触が避けられる客室内露天風呂」「スマートフォンアプリなどで混雑状況をモニターできる3密回避の大浴場」など、安心・安全対策にもスポットを当てた。（この特集は、本社ウェブサイト「観光経済新聞ツイッター公式アカウント」との連動企画です。ウェブサイト、SNS上では1日1宿ずつ紹介していきます）

この特集は本社ウェブサイト「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

全国の「風呂じまんの宿」23軒を紹介

岩手県・鶯宿温泉

ホテル森の風　鶯宿

混雑状況スマホで確認

鶯宿温泉のホテル森の風鶯宿（武藤清和社長）は、本格的なガーデニング庭園「フラワー&ガーデンの森」に隣接する大型リゾートホテルだ。

岩手山、雫石盆地を備えた大浴場があり、和風風呂、洋風風呂それぞれに、パノラマが自慢の空中露天風呂をはじめ、半露天風呂、室内大浴場がある。

客室数は計221室。このうち源泉掛け流しの露天風呂付き客室は「四季彩」と貴賓室・特別室「嘉苑」に21室。四季彩には、露天風呂にリフターを付けたバリアフリー対応の客室もある。湯上がりにはアイスキャンディーやオリジナルドリンクの無料サービスも行っている。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ3密回避対策として、洗い場や脱衣かごの間引きに加え、大浴場、売店、フロントの混雑状況をお客さまのスマートフォンで確認できるアプリを導入している。

▽岩手県岩手郡雫石町鶯宿10の64の1。☎0120(489)166。http://www.morinokaze.com/

岩手山が一望できる空中露天風呂

岩手県・新鉛温泉

結びの宿　愛隣館

三つの大浴場が好評

岩手県新鉛温泉の「結びの宿　愛隣館」（清水隆太郎社長）は、花巻温泉郷の最も奥に位置する自然に抱かれた温泉宿だ。三つの源泉からこんこんと湧き出る湯、「山の湯」「森の湯」「川の湯」の三つの大浴場の合計17の湯船がある。のれん の交換により、一晩の滞在で全てを体験できるのがうれしい。

山の湯は、昨年7月にリニューアルオープン。内湯に寝湯や、パウダーコーナーを増設した。豊かな自然に囲まれた大浴場には、名物の立湯露天風呂、岩露天風呂、古代檜（ひのき）風呂などがあり、快適な湯巡りができる施設へと生まれ変わった。

森の湯は内湯、シルクバスと、源泉100%掛け流し信楽焼陶器風呂、立湯露天風呂がある。川の湯はオープンドアの内湯、深さ90㌢の腰掛湯などがあり、入浴の楽しみが尽きない。

3密になりやすい大浴場については、宿泊客のスマートフォンで混雑状況を確認できるほか、浴室や脱衣場の備品を定期的に消毒しており、安心して風呂を楽しめる。

▽岩手県花巻市鉛字西鉛23番地。☎0198(25)2619。https://www.airinkan.com/

「山の湯」内湯

福島県・岳温泉

陽日の郷あづま館

源泉掛け流しの酸性泉

福島県あだたら高原、岳温泉の「陽日の郷（ゆいのさと）あづま館」（藤井宏二社長）は、安達太良山火口付近から湧き出る源泉を引き、掛け流しで利用している。湯は全国でも珍しいpH2・48の酸性泉。広々とした大浴場、開放的な露天風呂で味わうことができる。

源泉は標高1450㍍地点にある自然湧出の16カ所のうちの一つ。それを8㌔という長大な1本の管で引湯している。強い酸性泉は長い管の中でもまれてマイルドになり、入浴後のさらっとした肌触りは他の温泉では体感できない爽快感があるという。

大浴場「俳句の湯」には、昭和の俳人、宇田零雨が詠んだ俳句の句碑やレリーフが。露天風呂には総ひのき造りと一枚岩をくり抜いた浴槽の「月見風呂」「花見風呂」がある。空を眺めながら源泉掛け流しの湯に漬かり、至福のひと時を楽みたい。

館内では感染症対策を徹底。換気、消毒、抗菌、密回避など、万全の体制で取り組んでいる。

▽福島県二本松市岳温泉1の5。☎0243(24)2211。http://www.azumakan.com/

開放的な露天風呂

山形県・あつみ温泉

たちばなや

創業370年、歴史ある温泉宿

山形県あつみ温泉のたちばなや（佐藤佐次右衛門社長）は創業370年の歴史ある温泉宿。代々「佐次右衛門」の名跡を受け継ぎ、地域の温泉文化を守り続けてきた。

館内には大浴場、露天風呂、貸し切り展望露天風呂がそれぞれ二つずつ。

東館1階の大浴場「湯の里」は男性用、女性用ともに天井が高く、開放的な造り。浴槽には絶えず新鮮な湯が注がれ、湯あみを楽しむ人々の体を包み込んでくれる。

露天風呂は男性用が石造り、女性用がひのき造り。いずれも野趣にあふれ、里山の心地良い風に心が癒やされる。

貸し切り展望露天風呂は6階にある山側の「月の湯」と川側の「星の湯」。湯船に飲み物を浮かべ、満天の夜空を眺めながらプライベートな時間をゆっくり味わいたい。

コロナ対策にも気を配る。大浴場についてはサウナを休止し、密にならないような入浴案内をしている。従業員には他県への移動制限も行う徹底ぶりだ。

▽山形県鶴岡市湯温海丁3。☎02235(43)2211。http://www.tachibanaya.jp/

開放感あふれる男性大浴場

山形県・由良温泉

由良温泉　八乙女

夕日を望む露天風呂

〝東北の江ノ島〟ともよばれる景勝地、由良海岸に佇む由良温泉八乙女（石川博一社長）。露天風呂や展望大浴場からは、海岸線や日本海を望み、「日本の夕陽百選」にも選ばれた海に沈む美しい夕日を湯けむりの向こうに眺めることができる。

温泉は、昔からこの地に湧く「香頭源泉」と独自に掘削した「八乙女源泉」で、泉質の違う湯を浴場ごとに引き分けている。出羽三山の開祖、蜂子皇子がこの土地に上陸した際、8人の乙女が出迎えたという伝説にちなみ、皇子や乙女を名に冠した多彩な風呂がある。

和風、洋風の露天風呂は西館屋上にあり、男女入れ替え制で利用可能。さらに西館の大浴場として男女別の展望露天風呂と内湯。東館にも男女それぞれの大浴場がある。貸し切り風呂は、露天風呂で2カ所備えている。

客室数は59室。全客室から日本海を眺望でき、露天風呂付き客室もある。料理は近くの由良漁港に水揚げされた新鮮な魚介を堪能できる。

▽山形県鶴岡市由良3の16の31。☎0235(73)3811。http://www.yaotome.in.net/

屋上の和風露天風呂

千葉県・天津小湊温泉

宿中屋

今冬は美肌湯とふぐ料理を

千葉県鴨川温泉郷天津小湊温泉の宿中屋（中田弘治社長）は、創業が江戸時代の天保年間。房総半島先端近くの海岸沿いに館を構える風光明媚な宿だ。太平洋を一望できる絶景に加え、敷地内に湧き出す源泉掛け流しの天然温泉「城崎の源泉の湯」が楽しめる。

源泉掛け流しの湯は、女性に人気の美肌の湯。泉質はナトリウム塩化物、硫酸塩、炭酸水素塩、冷鉱塩（低張性・アルカリ性）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動まひなどに効果がある。大浴場「城崎の湯」「華海の湯」と露天風呂、貸し切り露天風呂「浜千鳥」で美湯が味わえる。

館はここ数年で幾度か大規模改装を実施。最上階に陶器製で特製の湯船を設けた露天風呂付きの特別室を9室新設するほか、4階フロアの全面改装などを行っている。

今冬は新プランとして「冬の味覚～ふぐ三昧」を用意。食前のふぐヒレ酒からふぐ雑炊まで料理長がフグ1匹を心を込めて調理し、提供している。

感染症対策では、館内消毒、マスク着用のほか、食事処で仕切りを設けて密や接触を避けるなど衛生管理を徹底している。

▽千葉県鴨川市天津3287。☎04(7094)11111。http://www.nakayahotel.com/

露天風呂付き客室

静岡県・稲取温泉

稲取銀水荘

自家源泉で豊富な湯

稲取銀水荘（加藤晃太社長）は、敷地内の自家源泉から豊富な湯が湧出している。無色透明な弱アルカリ性のナトリウム・カルシウム―塩化物泉で、保温性が高く、入浴後も体がぽかぽかすると評判だ。

豊富な湯が注がれる大浴場は開放的で、サウナも設置されている。大浴場に隣接したオーシャンビューの展望露天風呂は、相模湾、伊豆半島の海岸線を望む絶景が魅力。朝、夕、夜と時間帯により雰囲気が変わる。

プライベートな時間を満喫するには、9、10階のエグゼクティブフロア「銀の栞」。8室全てに相模湾を見下ろす展望露天風呂を完備している。2018年1月にリニューアル・オープンした6階のスイートルーム7室も展望露天風呂付きの客室だ。

創業60年を迎えた稲取銀水荘は自家源泉の湯をはじめ、自慢の料理、稲取の自然や文化を生かしたおもてなしを深化させている。

▽静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1624の1。☎0557(95)2211。https://www.inatori-ginsuiso.jp/

オーシャンビューの展望露天風呂

静岡県・堂ケ島温泉

堂ケ島ニュー銀水

絶景広がる露天風呂

海抜59㍍の高台から青い海とリアス式の海岸線を見渡す全客室オーシャンフロントの堂ケ島ニュー銀水（加藤晃太社長）。あふれ出る豊富な温泉を大海原とひと続きかのような露天風呂や大浴場で満喫できる。

展望露天風呂は、堂ケ島の入り組んだ地形と大小の島々が織りなす絶景、どこまでも続く水平線を見渡しながら入浴できる。露天風呂に隣接した大浴場は、ガラス越しに堂ケ島の絶景が一面に広がる。時間帯とともに変わりゆく光の色彩も美しい。大浴場にはサウナが併設されている。

温泉のほか、板前が腕をふるった料理の数々が人々を魅了。西伊豆は海、山の食材の宝庫。季節、宿泊プランに応じた献立は多彩で、金目鯛をさまざまな料理で味わえる「金目ざんまい会席」をはじめ、「富士のめぐみ『あしたか牛』特選会席」、「伊勢海老と鮑の贅沢会席」などがある。

▽静岡県賀茂郡西伊豆町仁科2977の1。☎0558(52)2211。https://www.dougashima-newginsui.jp/

堂ケ島の絶景を望む露天風呂